

# さくら

sakura

さくらえんに新しく入った職員です。  
新型コロナウイルスに負けずがんばります！



## ごあいさつ

あっという間に7月、夏本番となりました。

新型コロナウイルスの世界的な流行という未曾有の事態に、不安の大きい日々でした。1月に最初の感染が分かって以降、4月の緊急事態宣言発令と感染拡大に伴う社会的な制限および行動変容を求められることとなりました。さくらえんでも、職員の健康管理・感染対策徹底はもとより、ご家族の面会制限へのご協力、通所や短期入所などの在宅サービス利用のみなさまにも感染症対策へのご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。社会福祉法人として、感染拡大の脅威を身近に感じながらも、必要な福祉サービスを途切れることなくご提供し続ける責任と、どのような対策をとり向き合っていくか悩む日々でした。

ご家族もご自身の健康管理や生活の変化にご苦労され、ご入居者の健康状態や日々のご様子にご心配を募らせていたことと思います。その中でも、入手が困難であったマスクをご寄付いただいたり、職員にねぎらいや励ましのあたたかなメッセージを多くいただきまして本当にありがとうございました。第一線でご利用者のケアにあたる介護職員・看護師・機能訓練指導員を始め、どれだけ私たち職員の励みになったかわかりません。

ご利用者・ご家族・地域のみなさまとともに、あたたかな気持ちやつながりを大切に、日々やさしい笑顔があふれる生活を取り戻していけるよう、職員一同益々努力していく所存です。今後ともさくらえんの運営にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

相談課 課長 増田由佳

## 法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」

# 端午の節句

5月5日は端午の節句。今年の5月も涼しい風に包まれ、上空を鯉のぼりが泳いでおりましたね。今回は、皆さん各階ユニットごとに、外を眺めながらコーヒーや、ケーキを召し上がり、「おいしいわね、いいお天気ね。」とお話されていました。

5月3日～5日のお風呂の時間には、菖蒲湯で体と心もリラックス。

今年の端午の節句も楽しく穏やかに過ごすことができました。

介護2課 深谷亮介



## 行事食紹介

# 四季彩食

～端午の節句～

5月5日は“端午の節句（こどもの日）”ということで行事食を提供いたしました。日本には、平安時代から「五節句」という行事があり、季節の節目に健康長寿や、厄除けを願う風習がありました。こどもの日はその中の「端午の節句」にあたります。端午の節句は、五が重なることから「重五（ちようご）の節句」と呼ばれたり、邪気を祓うために菖蒲を飾ったり菖蒲酒を飲むことから「菖蒲（尚武）の節句」とも言われます。菖蒲が尚武に通じることから、たくましく成長することを願い、現在は男子の行事として定着しています。

今回の行事食では、海老やかツオ、また筍など、端午の節句にちなんだ縁起物と言われる食材を多く取り入れました。ご利用者より「美味しい！」との声を多く頂きました。

今後も季節や行事にちなんだメニューを考え、ご利用者のみなさまに満足していただけるよう努めてまいります。

栄養係 田中七海



お品書き

ちらし寿司・筍の木の芽和え・清まし汁（つみれ・水菜）・抹茶パバロア

# ユニットの様子

新型コロナウイルス対策のため、ユニットでも1日3回の手すりなどの消毒を行い、3密にならないようにリビングでは席と席の間隔を空けて過ごしていただいております。

ご利用者から「毎日新型コロナウイルスのことばかりで嫌だわ」と声がありましたので何かないかと考え、映画鑑賞を行いました。プロジェクターを使用し臨場感を味わっていただくとともに3密にならないように鑑賞していただきました。鑑賞後はご利用者より「面白かったです。」「また観たい」と多くの声がありました。

今回は、映画鑑賞を取り上げましたが、レクリエーションや余暇活動も工夫しながら実施してまいります。

介護4課 姉帯真吾



# 納涼祭 中止のお知らせ



※昨年度の様子です

今年は、新型コロナウイルスにより、有名な花火大会や近隣地域の夏祭りの中止が余儀なくされました。さくらえんでも、議論に議論を重ねた結果、残念ですが納涼祭中止の決断をいたしました。

納涼祭は中止しましたが「少しでもご利用者に季節感を味わっていただける取組みはできないか。」そんな想いがあり、小さいながらもイベントを企画しております。

もちろん、3密である密閉・密集・密接を避ける工夫をしながら楽しんでいただけるように実施していきたいと思っております。

次回の秋号でご報告させていただきますのでお楽しみに！！

介護1課 小木曾陽介



## 職員コラム

大相撲に華吹（はなかせ）という力士がいるのをご存じでしょうか。

今年の春場所後の番付は西序二段 68 枚目、過去最高も東三段目 18 枚目という力士のため、聞いたことないという方も多いと思いますが、実はこの方、5月28日に50歳となった現役最年長力士なのです。初土俵は1986年(昭和61年)3月場所ということなので、昭和、平成、令和の3つの時代で土俵に上がり続けたこととなります。休場したのも初土俵以来合計13日だそうです。関取でない力士は各場所の出場回数が7日しかありませんが、30年以上にわたって一つのことを続けるということは難しいものです。今では所属する部屋で若手力士と稽古をするだけでなく、ちゃんこ長として栄養を考えるなど、肉体面でも支えになっているそうです。

葛西紀明さん、三浦知良さん、山本昌さんのような輝かしい成績こそ収めていませんが、これも立派なレジェンド(伝説)といってもいいのではないのでしょうか。

介護1課 小木曾陽介

## 居宅介護支援事業所 さくらえん

在宅での介護が必要になった方やそのご家族が、安心して在宅生活を送ることができるよう、サービス計画(ケアプラン)の作成やサービス調整、サービスの効果の確認(モニタリング)を行なっています。介護に関してお困りのことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

☎ 0422-51-5597

## ボランティア募集

現在は新型コロナウイルスの影響で募集を見合わせています。  
今後再開した際には改めてお知らせします。



## 地域サロン

新型コロナウイルスの影響で現在は下記の営業を見合わせております。再開した際にはご利用お待ちしております。

### 休業中

毎週木曜日～日曜日 11:30～13:30  
ランチ営業(1日20食限定)

毎週日曜日 14:10～16:00「喫茶やすらぎ」カフェ営業

## さくら VOL.32



発行 社会福祉法人 徳心会  
特別養護老人ホームさくらえん 広報委員会  
〒180-0021 東京都武蔵野市桜堤2丁目8番31号  
TEL. 0422-51-5550 FAX. 0422-51-5807

発行人 園長 崎山良太  
編集人 広報委員長 中島祥一  
発行日 令和2年7月20日  
E-mail sakuraen@tokushinkai.jp  
H P https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。

## こころのは

ついに夏がやってきました。  
今年は4月の気温が例年より低く管理が難しかったのですがその分、甘味がある美味しい西瓜が出来ているそうです。  
真っ赤で甘い西瓜・・・いいですね。  
私はクリームスイカも好きです。  
西瓜を食べて熱中症や脱水症に気を付けて夏を乗り切ろうと思う今日この頃です。

介護3課 齋藤明衣